

第9回 カリキュラムワーキング部会 議事録

日時： 平成30年10月31日（木） 17:30～18:50

場所： 医学部長室

出席者： 秀部会長、石田、栗栖、小池*、田中、谷*、服部、松下各委員

欠席者： 安達、木村、坂口各委員

陪席者： 野崎主査（総務グループ）、杉本事務職員（学生支援グループ）

（* 第9回ワーキング部会の委員として学生会から指名された委員）

審議事項

1) 「医学英語」に関する提言に対する対応について

- ・ 松下委員より、「医学英語に関する6年間を通じてのコンピテンシー（案）」の提案があり、これに基づいて審議を行った。田中委員より、各項目について到達度を数段階に分けて盛り込んでどうかとの意見があった。田中委員および石田委員より、「英語データベースの検索」についてはコンピテンシーとして是非盛り込んで欲しいとの意見があった。松下委員からは、「英語での診療」は教育体制の観点からも実現困難と思われるとの説明があり、服部委員からも難しいとの意見があった。小池委員からは、全体として日本語での医学理解を圧迫しないような配慮をして欲しい、英語での診療は学生の目からみても高度過ぎる、との意見があった。
- ・ 松下委員より、来年度の3年生の「医学英語」の単位数はどうするか、2年生に1単位の新科目「医学英語」を新設するか、についての発議があり、審議の結果、単位数は現行の3年生1単位のみを堅持し、実際の教育計画については、単位に縛られないかたちで実際の運用を今後詰めていくこととなった。
- ・ 次回委員会までに、松下委員の方で具体的な教育計画案を作成することとなった。

2) 臨床実習後調査（アンケート）の修了認定要件化について

- ・ 松下委員より、臨床実習後調査の回収率が悪く、教育プログラム評価委員会より実習の修了認定要件に含めて欲しいとの要請があった旨の説明があった。審議の結果、反対意見は特になく、修了認定要件に含めることとなった。

3) 新科目「グローバルリーダー概論」について

- ・ 田中委員より、新科目「グローバルリーダー概論」について説明があった。松下委員より、内容的には教養科目がふさわしいのではないかとの意見があったが、秀部会長より、医学科の学生のみを対象とする都合上、専門科目と分類せざるを得ない旨の説明があった。
- ・ 審議の結果、原案通り、現行の「専門教養・国際協力論」の代替科目として新設することとなった。

4) 学生表彰制度の新設について

- ・ 小池委員より、学生表彰制度新設の提案があった。秀部会長より、成績上位となった学生を毎年表彰するのは、医学部が学生に期待する努力のかたちと必ずしも一致しないとの意見があり、審議の結果、制度の新設は行わず、今後、成績証明書を発行する際に、上位3名についてその旨を記載することが検討された。学部長（部会長）からは、表彰は、学内の相対的な順位の評価ではなく、学生として「当たり前ではない業績」を対象としたいという意思表示があった。

最後に秀部会長より、4年次の生命医療倫理学について、科目を半分に分割し、半分は1年次に行うことが検討されている旨の情報提供があった。